

事業名	令和4年度企画展示事業「和田の縄文弥生期出土品展」「和田文化工芸展」						
ジャンル	家庭教育	・	青少年教育	・	成人教育〈展示事業〉	・	団体育成
日程	令和4年7月～12月	講師	—	参加費	入場無料		
対象者	一般	参加者数 (延べ)	1,280名	募集方法	ポスター、チラシ、広報紙、公民館だより、HP等		
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・和田地域からの出土品を中心とした展示等を行うことで、歴史資産の価値を再認識し郷土への愛着を深く醸成する。 ・公民館で活動している団体等の展示を合わせて行い、文化工芸展としてコロナ禍においても社会文化活動に励んでいる人々の表現の場とする。 						
内容	(1) 縄文・弥生期の地区出土品展示 (2) 縄文・弥生期の資料パネル展示 (3) 和田公民館陶芸講座作品展示 (4) 和田地区文化活動団体等作品展示						
工夫	①2つの企画展を併せて実施し期間を長く設定したことで、相乗効果や来館者数の増加を図った。 ②企画展に係る講座を和田地域学第1回講座に設けて実施した。 ③新型コロナウイルス感染症対策に留意し展示を行った。						
成果	①縄文弥生式土器という和田地区及び周辺地域における貴重な歴史資産を活かす事が出来た。 またその事により郷土に対するアイデンティティの醸成を図れた。 ②参加団体等の活力維持に寄与する事が出来た。参加団体はコロナ禍や高齢化の影響もあり会員数が減少傾向にあったが、展示作品を製作する事により活力を維持出来ていると感じられる。						
課題	①施設へのアクセス面や周囲の回遊性等に課題があり、交通案内や来館時対応などホスピタリティ面の強化を図る必要がある。 ②引き続き参加団体の活動維持を図る必要がある。						

【公民館による事業評価】

項目	評価	視点
必要性	A	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館が行う必要があるか。 ・市民や利用者のニーズに合っているか。 ・目的や役割が薄れていないか。 ・事業の休止・廃止した場合の影響は大きいのか。
優先性	A	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の優先度は高いか。
公平性	B	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者に情報は流れているか。 ・受益者負担はあるか(実費・教材費)
有効性	B	<ul style="list-style-type: none"> ・期待通りの成果が得られているか。 ・さらに成果を高めるためにやり方の見直しは必要か。 ・市民の満足度は高いか。
効率性	A	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性はどうか。 ・事業運営に学習者が参画しているか。 ・他事業との統合は考えられるか。
総合評価	A	A：適切で成果が得られている。 B：課題あり、成果はある程度ある。 C：課題あり、成果があまりない。 D：成果が得られていない。
特記		

《凡例》 良い ← A B C D → 良くない	《判定例》 A } A } A } A } A } A } A } A } A } B } B } B } B } B } B } B } A } A } A } A } A } A } A } A }
-----------------------------	--

次年度展望	②	①：事業拡大 ②：現状規模で継続 ③：事業縮小 ④：目的達成により終了 ⑤：統合・改善・その他
-------	---	---

☆公民館運営審議委員付帯意見

(A:適切で成果あり B:成果はあるが、改善の余地あり C:要改善)

委員①		<ul style="list-style-type: none"> ・展示の関連付けは、広報的に有効な工夫である。 ・地域に根付いた展示は、様々な意味がある。 ・多くの世代に関連する展示、イベントの併催で来館者数増や、滞在時間の増加につながるのではないかと。→より多くの人に知って欲しい。
総合評価	B	

委員②		<p>佐倉市は、佐倉西高・臼井南中・井野小など、学校敷地内に古墳をはじめとする古代の遺跡があり、市民には関心が高い分野だと思われる。それが参加者数の多さにもつながったと考えられる。短期集中だとしても参加者の広がりには期待できないが、半年間という期間を設け、様々な手立てで周知したのはよかった。しかしながら、やむを得ないことではあるが、課題のところでも述べられているように、アクセスが悪くわかりづらい場所にある。地道に今年度のように着実に展開するか、何か手立てを講じて大きく広げていくか、いずれにしても悩ましい問題である。</p>
総合評価	A	

委員③		<p>太古の昔から和田地区が栄えていたことが分かった。縄文以降の和田地区の生活を感じた。コロナにより参観者が鈍ってしまった。建物の構造上不便があった。</p>
総合評価	A	

委員④		<p>歴史遺産を知る事・残す事・伝える事はとても大切です。文化工芸展との開催も参加者を集める上でプラスになったと思います。是非継続を。</p>
総合評価	A	

委員⑤		<p>たとえば、説明スタッフが数名いたら、より深く理解できたのではないかと。</p>
総合評価	B	

委員⑥		<p>地域文化の発掘をより多くの方に知って頂くことは意義があると思います。</p>
総合評価	A	

委員⑦		<p>昨年度に続いて考古学分野の企画展でした。展示のねらいは、先史時代の佐倉域に生きた人々がどんな暮らしをしていたかを探るものです。普通であれば市教委の文化課が企画する分野ですが、文化課と連携しながら公民館が主体となって担うところに意義を感じます。かつての暮らしを再現できるのは、土器や石器など衣食住に関わる出土品がすべてです。面積がわずか100平方キロメートルの佐倉市域でも、縄文時代あるいは弥生時代において全域で同じ様相が見られるわけではないところから「和田の縄文弥生期・・・」という発想が生まれてもおかしくありません。和田地区の住民にとって先人たちの息吹を感じ、歴史から何かを学ぶ取ることの出来る機会は貴重な経験になります。展示に関しては、規模は小さくても単に並べるだけでなく、説明パネルにも工夫が見られました。地域学と絡めたレクチャーもありましたが、日を決めて一般向けのレクチャーの開催も検討されるといいと思います。限られた職員体制のもと、地味ながら努力が感じられました。実は、和田公民館以外の各公民館が受け持つそれぞれの地区内にも少なからず遺跡は存在し、すでに調査を実施した例が多数あり、膨大な量の出土品は目の見えない状況にあります。他館においても、住民と身近な位置にある遺跡に関心を寄せることが出来る機会を模索していただきたい。</p>
総合評価	A	

委員⑧		総合評価	A	○和田地域からの出土品を中心とした歴史資産を再認識する展示は、和田地区の住民だけでなく、佐倉市民としても郷土への愛着を持つ一歩となる貴重な事業だと思います。新しいものはいくらでも作れますが、古い歴史を学ぶものは、作り直しができません。視点を示しつつ正しく認識できることが大切です。丁寧な展示が見に来た人にそれを伝えていることが素晴らしいと思います。歴史資料は、佐倉市全体から見ても貴重なものですから、永久保存的な価値があるかと思います。ふるさと館での展示は是非いつでも見られるようになることが期待されます。
				●和田公民館の分館としてのふるさと館は、今やその存在感は本館をしのぐものです。歴史資料や機織り展示など、もっともっとたくさんの人に見て欲しいと思いますので、一層のPRをした方が良いでしょう。弥富地区から見るとうらやましい限りです。
				●発表資料の中の写真にそれぞれ解説文があるととてもわかりやすいです。発表の前で見直したときに感じました。

委員⑨		総合評価	A	和田地域からの出土品の展示は、当該地域の縄文・弥生期の歴史を理解するうえでは良い催しだと思います。また、併せて展示した文化工芸展については、作品を作成した方々にとって良い発表の機会になったことと思います。

委員⑩		総合評価	A	縄文・弥生期の出土品や資料のパネル展示で、和田地域から多くの出土品が発掘されている事実を知る良い機会を与えていただけたと思います。また、展示パネルでは市内に数多くの遺跡が点在していることも学べます。事業を継続し、特に市内の小・中学校にさらなる情報発信を行ない、大勢の子供たちに縄文・弥生期の文化を学んでほしいと考えます。
				和田公民館では、以前から工芸活動が盛ん故、是非作品の展示も続けていただきたい。

※社会教育法第20条を根拠として評価

委員⑪		総合評価	B	〔事業区分〕学術及び文化に関する事業 〔目的〕住民の教養の向上 古代から地域に集落が存在していたこと、高い生活文化があったことなど、住民が再認識され、知識が深まったことは有意義な事業だと思います。
				小学生（高学年）及び中学生を対象とした展示説明等、佐倉学として取り入れてはと思います。 （改善点）展示スペースが狭く、内容として発掘調査の様子、他の遺跡との相違、和田地区の特異性等の説明がほしかった。又、他の展示と混在していて、当事業が理解が難かった。

委員⑫		総合評価	B	佐倉市の貴重な文化財を市民に知っていただく、有意義な事業であると思う。若い世代にどのように興味を持ってもらうかが課題だと思う。

委員⑬		総合評価	B	郷土の歴史をここまでまとめあげたのは評価できます。この企画を佐倉市内、小学校、社会科授業の一環等、検討の価値はあると思います。

委員⑭		総合評価	A	地味ですが、本当に貴重な文化財を大切にしている素晴らしいと感じました。和田ふるさと館を訪れて、感心はするにですが、私の中でときめきが生まれませんでした。私には事前学習が必要でした。

委員⑮		総合評価	A	○地域の資産の出土品の展示は和田公民館の財産と思います。
				○アクセスの悪さ・コロナ禍でも1,280人の来館は評価します。
				OSNSによるPRにより、来館者増の施策展開望みます。